

早期発見のために！

胃がんの検診を受けましょー

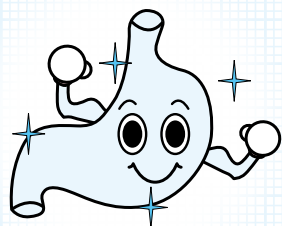
日本人が最も多くかかるがんである胃がん。市では、胃がんの早期発見のために、胃がん検診を実施しています。
対象の皆さんは、検診を受けましょー。

対象

富士市民で、該当する年齢の人（下記表を「ごらんください」）

検診期間

5月～平成27年2月
※集団検診は、5～11月です。



対象年齢別にみる検診とその受診方法

受診料	受診方法	検診方法	検診名	対象年齢 ※今年度中にその年齢になる人。
3000～5500円 ※年齢・性別によって異なります。	市内の実施医療機関で受診	胃内視鏡検査 胃に内視鏡を入れて直接観察する ※胃がんのほか、肺・大腸・前立腺がん、肝炎ウイルスの検査をセットで受診。	がんドック検診	55・60・65・70歳 35・40・45・50歳
2500円(集団検診は1000円)	市内の実施医療機関で受診 ※集団検診の場合、各地区まちづくりセンターなどに来る検診車で受診。	胃エックス線検査 バリウムと発泡剤を飲み、エックス線で胃の形や粘膜を観察する	胃がん検診 ※がんドック検診と胃がんリスク検診を受診した人は受診できません。	35歳以上
1000円	市内の実施医療機関で受診	血液検査 血液で、ピロリ菌の有無と、胃粘膜の萎縮度を調べ、胃がん発生の危険度を調べる	胃がんリスク検診	56・61・66・71歳 36・41・46・51歳



問い合わせ

健康対策課

☎(64)8992
☎(64)7172

胃がんリスク検診とは？

ピロリ菌に感染し、胃粘膜の萎縮が進むと胃がんが起きやすいと言われています。胃がんリスク検診は、2種類の血液検査によって、胃がん発生のリスク(危険度)をA～Dに4分類する検査です。

		ヘリコバクター・ピロリ菌抗体検査(ピロリ菌の有無)	
		(-)	(+)
ペプシノゲン検査 (胃粘膜の萎縮度)	(-)	A群 精密検査は不要	B群 要精密検査
	(+)	D群 要精密検査	C群 要精密検査

詳しくは、全戸配布された『平成26年度健康カレンダー』を「ごらんください」。

また、胃がんリスク検診の対象者は、4月下旬に通知を発送します。対象者は、忘れずに検査を受けてください。

